



ディボーション質問表

ネヘミヤ記の内容は、大きく3つの部分に分けることができます。エルサレム城壁の再建(1章～7:4)、エズラ、ネヘミヤの宗教改革(7:5～10章)、付記的事項(11～13章)。

28日(月)ネヘミヤ記 1:1～11 ネヘミヤの祈り

1. この章からネヘミヤがどのような人物であった事が分かるでしょうか？ 彼は、エルサレムの状況を聞いた時、どうしましたか？ あなたは彼の姿をどう思いますか？
2. ネヘミヤ記にはネヘミヤの祈りがたくさん書かれています。この章に書かれている彼の祈りから学びましょう。自分の生活に適用出来ることはないでしょうか。
3. ネヘミヤが掴んでいた神さまの約束は何でしょう(9節)。

29日(火)ネヘミヤ記 2:1～10 ネヘミヤの帰還

1. キスレウの月とニサンの月の間は約4ヶ月なので4ヶ月間もとりなし続けたことになります。その後どのようなことが起こりましたか(1～6節)？ 彼のこのような姿から学べる事はあるだろうか。
2. ネヘミヤは自分の願いが叶ったことをどのように表現していますか(8節)？
3. 10節に出てくる、サヌバラテとトビヤの姿を見てあなたはどう思いますか？

30日(水)ネヘミヤ記 2:11～20 エルサレムの城壁調査

1. ネヘミヤがエルサレムにやって来て、最初にした事は何だったのでしょうか？ 彼はそれを何故、誰にも知らせないでいたのだと思いますか(11～16節)？
2. 19節でまたサヌバラテとトビヤが出て来ます。彼らはどのような事をしているのでしょうか？ それに対するネヘミヤの答えはどのようなものでしょうか？ ネヘミヤの答えを読んで、あなたはどう思いますか？

31日(木)ネヘミヤ記 3:1～32 工事担当者の名簿

1. この章には、それぞれの人物が城壁の修理をした事が書かれています。その表現の中に「家に面する所を修理した。」とか「熱心に修理した。」などの表現があります。それぞれの人が修理に携わっている姿勢に目を留めて読んでみましょう。
2. 誰がどこを修理しましたか？ それは誰か一人が頑張って修繕していますか？ → キリストの体である教会も、同じように様々な人たちの働きによって建て上げられることを知っていますか？

1日(金)ネヘミヤ記 4:1～23 妨害の中での工事

1. 人の計画を止めようとする人たちはどのような言葉を語りますか(1～3節)？ それは事実ですか？ その言葉に彼らはどう対処しましたか(4～8節)？
2. 4～5節に敵の妨害の中で、ネヘミヤの祈った言葉が書かれています。彼の祈りから学びましょう。
3. 邪魔が入った時に彼らは、どのような具体的な対策をとりましたか(16～23節)？

2日(土)ネヘミヤ記 5:1～19 窮乏に対する民の訴え

1. ユダヤ人達の中に貧富の差が表われ始めていました。いわゆる格差社会です。働いても借金がなくならないというワーキングプアの人たちを救済する政策をネヘミヤはとり始めます。今日の日本社会にどう適用できると思いますか？ またあなたは自分の富を慈悲深く使っています。自分の収入の一部を誰かの為に使うことについて考えてみましょう。
2. 14節以降のネヘミヤの仕事ぶりから何を学ぶ事ができますか？ また18節のネヘミヤにあてられた料理から何を感じますか？ ネヘミヤにとって大事な事は何だったと思いますか？

***今週の箇所から3日以内に始められ、具体的、実現可能で計測することができる計画を聞いてみましょう。**